大型連休に合わせて町ブナセンターが自然観察会を開催
「春の花自然観察会」

４月２８日、蒲生かたくり公園で「春の花観察会」が開催されました。観察会では、蒲生岳を眺めながら雪食地形やモザイク植生、クリ林に広がるカタクリ群落を観察し、春に咲く花の生活史と生育環境などについて、ブナセンター職員が解説を行いました。同公園は、蒲生集落の方々によって維持管理され、カタクリの生育に適した環境となっています。参加者は、只見を代表する春植物の生態や多雪により形成された蒲生岳の特徴的な植生などを学びました。

▲職員の解説を聞きながら春植物の観察を行った

「新緑のブナ林観察会」

▲２日間の観察会で計２６人が参加した

４月２９日、布沢・癒しの森で「新緑のブナ林観察会」が開催されました。ようやく芽吹き始めた木々が広がる中、センター職員がブナの特徴や開葉の仕方、雪が生育に与える影響などについて解説を行いました。また、地面に落ちた種子が発芽する「更新」や伐採後のブナ林が再生する様子などを観察しました。参加者は、観察会を通じてユネスコエコパーク域である只見町の自然への理解を深めました。

地域の景観・環境美化を推進
朝日地区で「ちょボラごみ拾い」を実施

４月２７日、朝日地区で「ちょボラごみ拾い」（主催：朝日地区地域づくり委員会）が実施され、約４０人の皆さんが参加しました。

当日は雨天の中での開催でしたが、参加者は４コースに分かれ、国道２８９号線沿いや県道に落ちていたごみを精力的に拾い歩き、集めたごみは４８袋分となりました。

同イベントは、地域の景観・環境美化推進を目的に例年行われており、今秋にも開催が予定されています。

▲早朝からごみ拾い活動に参加した地域の皆さん

皆さまからの身近な情報をお待ちしています。ご意見ご要望もお気軽にお寄せください。
地域創生課　☎82－5220　Fax 82－2117

第72回福島県総合体育大会スポーツ少年団体育大会ソフトボール競技南会津大会
只見スポーツ少年団が優勝！

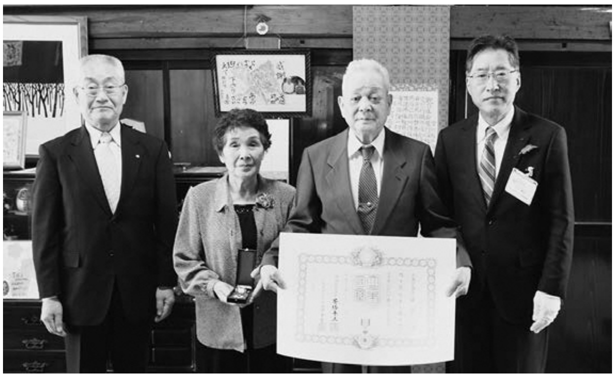
５月３日、福島県・福島県体育協会・福島県スポーツ少年団が主催する同大会が南会津町びわのかげソフトボール場で行われ、只見スポーツ少年団が優勝という素晴らしい成績を収めました。

同大会には郡内８チームのスポーツ少年団（小学生）が参加し、決勝に勝ち進んだ只見スポーツ少年団は、田島スポーツ少年団を７－０で退け、見事優勝を果たしました。

優勝した只見スポーツ少年団は、６月８日から須賀川市にて開催される県大会に出場する予定です。

▲優勝を果たし、県大会での活躍が期待される只見スポーツ少年団の皆さん

功績を称える
横田治さんに高齢者叙勲を伝達



▲金子南会津地方振興局長（右）から横田さん（中右）に勲記などが手渡された

５月１０日、元只見町議会議員の横田治さんへの高齢者叙勲（旭日単光章）伝達式が、横田さんの自宅（大倉）で行われました。横田さんは、平成４年の初当選から町議会議員を通算３期１２年務め、町政発展や地方自治の振興に多大なる貢献をされました。式では、金子隆司南会津地方振興局長から横田さんに勲記などが手渡された後、同席した菅家町長が「永年にわたる御功績が認められたものであり、ご家族のお支えもあっての受章」と述べ、その功績を称えました。

泥だらけになりながら手植え体験を満喫！
KARIYASU '19「100人手植え」開催

５月１１日、地元農家が主催する田植え体験イベント KARIYASU '19「１００人手植え」が季の郷湯ら里前の田んぼで開催され、町内外から多くの皆さんが参加しました。

参加者の皆さんは、スタッフと一緒に泥だらけになりながら、普段の生活では体験することの少ない田植え体験を満喫しました。また、田植機の試乗体験も行われ、多くの方が農作業に触れる機会となりました。

今回植えられた苗は、秋に実施される「１００人手刈りイベント」で収穫される予定となっています。

▲晴天の中、田植え体験を満喫した

今年も只見四名山の山開きがスタート！
「要害山」山開き

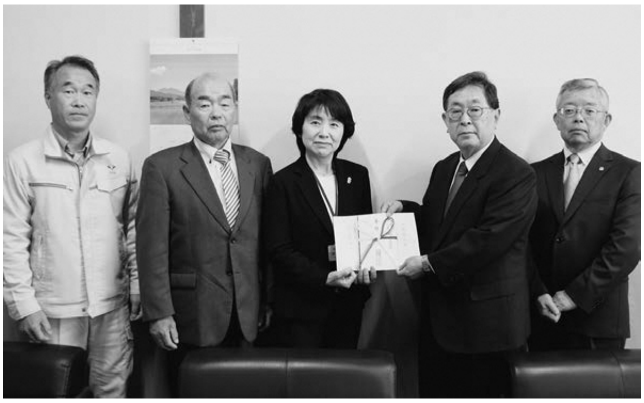
５月１２日、只見四名山の１つである「要害山（７０５m）」の山開きが行われ、今年も只見の山開きシーズンがスタートしました。

当日はＪＲ只見駅前広場で開山式が行われ、菅家町長が歓迎の挨拶をした後、町内外から参加した約１９０人が登山を開始。雲一つない青空が広がる中、山頂を目指しました。参加者は道中の新緑や山頂からの景色、下山後の甘酒のふるまいなどを楽しみながら、今年最初となる山開きを満喫しました。

▲登山前の様子

▲山頂付近からの眺め

佐久間建設工業㈱が来庁
地域振興資金として50万円を寄付


▲佐久間源一郎社長（右から２番目）をはじめとする皆さんが来庁し、寄付をいただいた

５月１５日、三島町に本社を置く佐久間建設工業㈱の皆さんが役場を訪れ、町の地域振興に役立ててほしいとして５０万円を寄付されました。同社は今年で創立１００周年を迎え、奥会津地域に貢献する建設会社を目指し、日々活動されています。当日は、渡部教育長が佐久間源一郎代表取締役社長から寄付金を受け取り、「本町の地域振興施策に活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。

只見町で農村生活を体験
教育旅行の受け入れを開始

５月１５日、学生たちが農村生活体験を行う教育旅行の受け入れが町内で開始されました。今年度は５月から９月まで、県外から１０校約１８００人の来町が予定されており、郡内４町村と連携して受け入れを行います。（※今年の２月には、郡内４町村が「南会津地方の教育旅行に関する協定」を締結）

当日は、仙台市立郡山中学校の２年生１９８人が訪れ、季の郷湯ら里で開村式を行った後、町内で農作業などの体験を行いました。

▲受け入れ農家の人たちと農業体験を行う生徒

皆さまからの身近な情報をお待ちしています。ご意見ご要望もお気軽にお寄せください。

地域創生課　☎82－5220　Fax 82－2117

広報ただみでも連載中

講演会「コモンズと只見の共同利用資源-叶津を中心に」を開催

５月１８日、広報ただみ「町史とっておきの話」で現在連載中の「コモンズと只見の共同利用資源」に関連したテーマによる講演会が開催されました。只見振興センターで開催された同会は、只見の自然に学ぶ会が主催し、約２０人が参加しました。

当日は、連載の執筆者である山形大学農学部准教授の林雅秀さんが講師を務め、叶津での林野利用を中心にコモンズ（森林などの入会地のこと）の意義や今後の可能性などについて解説をされました。

▲講演に耳を傾ける参加者の皆さん

俳句を通じ首都圏の方々が来町

俳句会「航」の皆さんと交流

▲２日目に行われた句会では多くの句が発表された

５月２４日、首都圏を中心に活動する俳句会「航」（会員約２００人）の皆さんが来町され、只見俳句会（会長：目黒レイ）の皆さんと交流されました。

同交流には総勢４０人が参加し、１日目に季の郷湯ら里周辺でのブナ林で吟行、２日目に句会という１泊２日の行程で行われました。句会では、「航」から参加された方々より只見に関する句が詠まれる場面も見られ、俳句を通じてお互いに交流を深め合う機会となりました。

歩いて健康づくり！

只見町民ハイキングで新緑を満喫

５月２６日、今年で３０回目を迎えた「只見町民ハイキング」が開催され、約７０人が参加しました。参加者は２コース（２．８㎞、４．７㎞）に分かれて、今春リニューアルオープンした「奥会津ただみの森キャンプ場」をスタートし、新緑の景色を満喫しました。

ゴール後には、只見婦人会による豚汁・おにぎりのサービスやお楽しみ抽選会も行われ、家族連れを中心に多くの人が楽しんだイベントとなりました。

▲天候にも恵まれ、多くの人が参加した